



## 地域経済の活性化と雇用確保の促進を

株式会社高瀬電設（代表取締役社長 上野 定之：写真右から2番目）が「秋田県優良中小企業者表彰」を受賞し、上野社長らが報告のため市長を表敬訪問しました。

この表彰は、地域経済の活性化と雇用確保の促進に貢献してきた中小企業に対し贈られるもので、上野社長は「これからも、従業員と従業員の家族が安心して暮らせる会社でありたい」と話し、受賞を喜んでいました。



## eスポーツの普及と地域の賑わいを

「ゆざわeスポーツフェスタ(主催:NPO法人ゆざわサンマリツスポーツクラブ)」が総合体育館で開催されました。

eスポーツの普及と地域の賑わい創出を目指し、湯沢市参加・協働のまちづくり提案型補助金を活用して開催された本イベントには約300人が来場。eスポーツコミュニティ交流会などのほか、県内初となるARスポーツ「HADŌ」(写真)秋田県大会が開催されました。



## 温かいご支援をいただきました

株式会社柴田組（代表取締役社長 柴田 晋：写真左）から市に寄付をいただきました。

今回の寄付は同社の設立155周年を記念して実施されたもの。柴田社長は「地域の皆さんに支えられ155周年を迎えることができました。寄付は未来を担う子どもたちのために役立てていただきたい」とあいさつ。佐藤市長は「貴重なご寄付ありがとうございます。有効に活用させていただきます」と述べました。



## プログラミングの技術や設計を競う

第10回宇宙エレベーターロボット競技会東北大会が市役所本庁舎1階市民ロビーで開催されました。

この競技は、地上約4mに吊るされた模型を宇宙ステーションに見立て、ロボットを使い「ステーションにピンポン玉を運ぶ」などのミッションを達成したポイントを競うもの。市からは湯沢翔北高校3チーム、湯沢南中学校2チームが参加し、レゴ教材を使って製作したロボットでプログラミングの技術や設計を競いました。



## サツマイモ掘りで園児と交流

稲川支援学校高等部農耕班の生徒とみたけこども園の園児による「サツマイモ掘り交流会」が行われました。

この学習活動は、園児との体験交流を通して生徒が自己有用感を高めることを目的に行われているものです。生徒たちは園児たちに芋掘りの仕方を丁寧に教えながら、5月に一緒に植えたサツマイモを収穫。参加した園児たちは楽しそうにサツマイモを掘り起こしていました。



## 4年ぶりの大名行列 古式ゆかしく

市の無形民俗文化財である伝統行事「大名行列」が4年ぶりに行われ、地元の児童が扮する殿様を中心に、佐竹南家時代の衣装に身を包んだ参加者たちが、市内中心街を古式ゆかしく練り歩きました。

当日は快晴の下、各所で披露される「やっこ振り」や、凜とした殿様の登場に大きな歓声と拍手が上がり、多くの観客を魅了しました。



## 稲庭うどん 2度目のグランプリ

9月30日・10月1日の2日間、市役所稲川庁舎前駐車場を会場に「第11回全国まるごとうどんエキスポ2023in秋田・湯沢」が開催され、全国11道府県、13店舗のご当地うどんが一堂に会しました。

会場は、家族連れなど多くの来場者でにぎわい、さまざまなうどんの食べ比べを楽しみました。来場者による投票の結果、「稲庭うどん」が、2015年以来2度目のグランプリに輝きました。



## 募金で地元へ思いを

明治安田生命保険相互会社の「私の地元応援募金」で集まった315,500円が市に寄付されました。

「私の地元応援募金」は、同社の従業員が出身地や過去の勤務地などの自治体や団体を選んで募金を行い、同社が額を上乗せして寄付するもので、今年で5回目。岸本輝彦秋田支社長(写真左)は「湯沢市がいつまでも活気あふれる場所であることを願っています」と話し、佐藤市長に目録を手渡しました。

